

【3月11日（金）東日本大震災の日のお話】

全校の皆さん、おはようございます。今日は、草平体幹体操を中止し、校長先生からのお話をさせていただきます。

今日は、東日本大震災からちょうど11年です。

11年前の2011年3月11日金曜日。午後2時46分に、宮城県の太平洋沖を震源とする、大きな地震が発生しました。マグニチュード9.0、最大震度7という日本周辺で起きた地震としては、観測史上一番大きな地震でした。

ものすごく大きな揺れで建物が崩壊したり、巨大津波が押し寄せて一瞬で全てを呑み込んでしまったり、あちこちで火災が発生したりしました。今年の3月1日現在で、死者は1万5900人、行方不明者2523人という、多くの尊い命が奪われました。そして約4万人弱の人たちが、家を失い今なお避難生活を送っています。

多くの皆さんは生まれる前の出来事ですし、生まれていたとしても記憶には残っていないと思います。それでも、私たちはこの日を忘れることなく、防災について、そして命について考えていかなければならないと思います。

今から短い時間ですが、東日本大震災で亡くなった方の魂に祈りを込めて、全校で黙とうを捧げます。合図があるまで、静かに目を閉じてお祈りしましょう。

「黙とう」（30秒）「黙とうを終わります」

巨大地震は、いつどこで発生するかもしれません。私たちの住む愛知県も数十年のうちに巨大地震が発生する確率が高いと言われ続けています。私たちも、防災対策をしっかりと、自分の命は自分で守れるよう、日頃から意識して過ごしましょう。自分の命も人の命も大切できる草平っ子でいてほしいと思います。

校長先生のお話を終わります。